



建築概要
主 用 途 冷蔵倉庫
所 在 地 中央区長浜三丁目21番1外
事 業 福岡中央卸売市場鮮魚市場
設計施工者 日本鋼管・高木工務店建設工事共同企業体
竣 工 平成29年3月
構造・規模 鉄骨造 地上3階

大規模建築物等の届出制度の事例紹介 鮮魚市場東冷蔵庫棟

中央区長浜の鮮魚市場は、博多の真文化を象徴する施設である。全国有数の水揚高を誇る博多漁港を擁し、面積約11ha、福岡のウォータフロントの重要な一画を形成している。鮮魚市場では、機能の拡充と市民に開かれた市場づくりを目指して整備を進めており、東冷蔵庫棟は、市場会館棟とともにその第1期工事として建設されたものである。

冷蔵庫棟とは、魚の巨大な倉庫にはかならない。今回の計画では、道路からの後退や壁に凹凸を付ける提案もあったが、経費や機能上の制約から、結果として南側の前面道路から約35mセットバックした位置に高さ20m、長さ90mもの長大な壁が連続する設計になっていた。

当初の設計案は、グレーの壁に青い窓をイ

メージしたものであったが、「海」や「清潔感」を表す青は、ややもすると冷たさや寒々しさを感ぜさせる。そこで、その案をもとに都市景観アドバイザーである九州芸術工科大学の佐藤優教授の協力を得て、様々な検討を行った。巨大なボリューム感を軽減し、他の倉庫群と違う個性を表現するため、凹凸感のあるいくつかの色彩コントラストによって視覚的な変化を演出した。海や魚などの具象的な描画に陥らず、また、海や青といった短絡的な色や派手な色を使わずに色彩のコントラストによって豊かなにぎわいや楽しさをイメージさせようとしたところになみなみならぬ苦心の跡がある。建築で処理できなかったところを塗装で補うことは、やや安直な方法と言えなくもないが、臨海部の業務地区で機能性やコストを第一に考える地域における景観上の対策として、注目していただきたい。



グレーの外壁に青い窓をイメージした当初の設計案

【写真1】大規模建築物等の届出制度
福岡市都市景観条例により、建築主など届出を義務づけ、景観上の助言・指導を行う制度
届出対象
●高さ30mを超えるまたは延べ面積が1万㎡を超える建築物
●高さ50mを超える工事物
●重要景観地区内建築物 延べ面積が10㎡を超えるもの
また延べ面積が30㎡を超えるもの

【写真2】都市景観アドバイザー
建築士・造園士・都市計画法 他、関係する各専門とすきすき協議会等によって構成され、建築主等案件に対して助言や指導を担っている。